

【学生FD】

2019年度ベストティーチャー賞を実施しました

2019年度ベストティーチャー賞の投票期間が終了しました！

10月23日(水)～11月15日(金)の期間で実施し、約1,000票の投票が集まりました。

投票して下さったみなさん、ありがとうございました。結果は12月下旬にFD推進センターHPで公表されます。

2014年度からスタートしたベストティーチャー賞も今年度で6年目となります。

皆さんは過去にベストティーチャーに選出された先生の授業はもう受講しましたか？

多くの学生から支持を受けた先生・授業です。面白くないこと間違いなし！ぜひ次年度に受講してみたいか？

FD推進センターHPはこちら⇒



ベストティーチャー賞実施の様子①



様子②

安藤 光平(学務部教育支援課)

【ボランティアセンター】

「ユニバーサルシアターで学ぶバリアフリー映画」を開催しました

10月2日(水)に「ユニバーサルシアターで学ぶバリアフリー映画」を市ヶ谷ボランティアセンターで実施し、12人の学生が参加しました。ユニバーサルシアターとは、目の不自由な方、耳の不自由な方や車いすの方と共に映画鑑賞を楽しむために、車いすスペースやイヤホン音声ガイド、字幕付き上映を常時行うことで、多様な方々の映画鑑賞をサポートしている映画館です。今回は日本初のユニバーサルシアターであるCINEMA Chupki TABATAIにおいて代表である平塚氏より、ユニバーサルシアター設立時の想いや映画館の特徴、バリアフリー映画館が町にできて感じてきたこと等を講演いただき、バリアフリー映画についての意義や理解を深めました。講演の後は実際に「10年 Ten Years Japan」を鑑賞しました。実際に音声ガイドや字幕、バリアフリー映画ならではの作りをした音響設備などを体験し、参加者は音声ガイドで情景を想像する難しさや、音声ガイドならではの感性を味わいながら作品を鑑賞しました。

最後の意見交換や質問コーナーでは参加者から感想や質問が多く寄せられ、代表の平塚氏が一つ一つの質問、感想に対して丁寧に答えている姿が印象的でした。また、質問、感想の内容から参加学生の関心の高さをうかがい知ることができました。11月、12月とボランティアセンターでは様々なボランティア活動を企画していますので皆さんチェックしてみてください！



熱心に質問をする学生



講演の様子

小山 悟史(学生センター)

【課外教養プログラム】

「歌詞から学ぶ言葉のチカラ ～広げよう！日本語の世界～」を実施しました

10月21日、多摩キャンパスにて課外教養プログラム「歌詞から学ぶ言葉のチカラ ～広げよう！日本語の世界～」を実施いたしました。

日ごろ何気なく聴いている歌には、様々な日本語表現が用いられています。歌詞は比喻や反復・倒置法など日常会話では用いない巧みな言葉選びがなされており、歌詞によって曲の世界観が形作られたり、聴き手の心を動かしたりすることも多々あります。また曲が作成された時代に即した言葉が用いられることや、社会的背景や文化が歌詞に反映されていることもあります。このように、様々な側面をもつ歌詞を用いることで、多様な視点から言葉の奥深さを学べると考えました。

プログラムでは、万葉集や現代の曲に通じてみられる当て字文化や役割語によって曲やアーティストの世界観構成がされていることを学びました。また古今和歌集の歌からは当時のジェンダー観がよく表れており、歌詞から社会的・文化的背景が読み取れることがわかりました。講義中は学生が良く知っているJPOPやアイドルの曲を実際に聴いたり、自分で選んだ歌詞の分析をしたりすることで、楽しみながら学ぶことができました。

今回のプログラムで、参加者の皆さんには日本語表現がもたらすチカラを知り、言葉への学びから人や社会への興味関心を高めていただければ嬉しいです。



様々な日本語表現についてレクチャーを受ける様子



集合写真

團之原 啓一(学生センター)

【ライブラリーサポーター】

自主法政祭市ヶ谷地区でビブリオバトルが開催されました

ライブラリーサポーターが自主法政祭市ヶ谷地区(11/3(日)、11/4(月))で「ビブリオバトル※」を開催しました。秋採用の新メンバーを加えて、毎週のミーティングでビブリオバトル・展示の準備を進めてきました。具体的には、本の紹介方法や集客方法、掲示物の種類、会場の雰囲気など、話し合いを重ねてきました。その結果、2日間で46名の来場者が集まり、大好評のイベントとなりました。

※ビブリオバトル…バトル(発表者)たちは1人5分の持ち時間で、おすすめ図書の書評を行います。そして、会場の皆様で一番読みたくなった図書を選び抜き、「チャンプ本」を決めます。

学生選書本の展示を行いました

各キャンパスの図書館では、10月初旬にライブラリーサポーター選書本のミニ展示を行いました。展示した本は、ライサポが紀伊國屋書店新宿本店にて「学生のみなさんに読んでもらいたい！図書館にこんな本があったらいい！」という目線で選書した本です。ライサポ手作りのPOPも一緒に展示をしました。

有川 博隆(図書館事務部市ヶ谷事務課)



ビブリオバトル



学生選書本展示

【市ヶ谷キャリアセンター学生サポーター】

学生サポーターによる就活生サポート企画、第一弾を開催します

『3年生は就活不安よな？学サポ 動きます！』

11月22日(金)①13:20~14:30 ②15:10~16:20

11月27日(水)①13:20~14:30 ②15:10~16:20 計4回開催/同内容

市ヶ谷キャリアセンター(外濠校舎2階)内セミナースペースにて

就職活動を終えた4年生スタッフ(学生サポーター)が、これから就職活動を迎える3年生に向けて、実体験をもとにした就職活動サポートイベントを開催します。

本イベントは座談会形式で、各内定先業界の就職活動スケジュールなどについてお話しします。

リアルな体験談をもとに、成功体験だけでなく、失敗談や後悔についても気軽に聞くことができますので、就職活動を控える3年生はもちろん、「就活ってどんな感じなんだろう？」と漠然とした不安をもっている1、2年生の皆さんにもオススメです。



森田 愛弓(市ヶ谷キャリアセンター)

《イベント情報》

キャリアセンターHP、キャリアセンター掲示板等からご確認ください。

【編集後記】

大学祭も終わり、季節は秋から冬に移ろうとしています。1年があっという間に終わろうと感じる時期だと思います。この時期は、さまざまな学年で年明けや次の学年になるに向けての準備が行われているようです。部やサークルは次の世代に組織を引き継ぐ準備、卒業論文提出に向けた追い込み、秋学期試験への準備、ゼミの選考、就職活動ないしはそれに向けた準備、留学、春休みに向けた旅行の計画などなど、大学生活を愉しんでいる皆さんは時間に追われて忙しいかもしれません。季節の変わり目で体調を崩さないよう、充実した日々をお過ごしください。

石川 拓矢(入学センター)